

登山の安全を祈願して
第72回大山夏山開き祭



▶山頂祭の様子



▲大神山神社奥宮を出発するたいまつ行列

夏山シーズンの到来を告げる第72回大山夏山開き祭が、6月2・3日に行われました。

2日の前夜祭のクライマックスはたいまつ行列。開山1300年の記念すべき年でもあり、たいまつもあつという間に完売するなど大盛況でした。大神山神社奥宮で登山者の安全を祈願する神事が営まれた後、19時半にたいまつ行列がスタート。約2千本のたいまつが炎の帯が参道を彩りました。

3日は大山山頂で山頂祭神事が行われ、関係者や登山客ら約700人が参加しました。



▲前夜祭であいさつする辛利善(シン イソン)副郡守

友情の輪いつまでも

韓国襄陽郡から訪問団

両日とも好天に恵まれ、県内外から大勢のお客さままで終日にぎわいました。博労座駐車場の特設ステージでは地元有志のパフォーマンスやBSラジオの公開生放送、グルメコーナーなども行われ、夏山開き祭を大いに盛り上げました。

大山にはこの2日間で、例年より3千人多い、約1万4400人が訪れたということです。

6月1日から3日にかけて韓国襄陽郡の副郡守や議員など7名の訪

問団が来町されました。

初日は役場本庁を表敬訪問し、5月18日にオープンしたばかりの大山参道市場を視察。夜には、大山町日韓交流協会主催の交流会に出席し、たくさんの方と交流をふかめられました。

2日目は「夏山開き祭前夜祭」に出席。大神山神社奥宮から博労座特設会場までのたいまつ行列に参加され、たいまつが描く幻想の世界に感激されていました。

大山町と襄陽郡は平成16年に友好親善交流協定を締結しており、今後も友情の輪が広がる交流を続けていきます。

1300本の
たいまつ行列
9月30日(日) 19時～
夏山開き祭で行われるたいまつ行列が、秋にも特別開催されます。